



## 天界新知識

新知識各項に附けた番號は便宜上のもので分類に關係はない。各人の分類整理に應用されたい。

### 573 北極星の色温度の變動

獨國ゲチンゲン大學天文臺 M. Schwarzschild 氏は、カシオペア座  $\beta$  星を比較星として北極星のスペクトル及び格子寫眞を撮り、其の色温度の變動する状態を研究した。それによると、

- 色温度が極大となる位相..... $0.460 \pm 0.037$
- 色温度が極大の時期.....J. D. 2427661.35  $\pm 0.15$
- 色變動の振幅..... $\Delta F = 0.101 \pm 0.020$
- 色傾斜の振幅..... $\Delta G = 0.127 \pm 0.026$
- 又、極大光度の時期.....J. D. 2427661.22  $\pm 0.14$
- 参考のため、極大光度の時期 (Florya. より)...J. D. 2427661.12 [AN. 6135]
- “    極大光度の時期 (E.J.Meyer より)..J. D. 2427661.35 [AN. 6144]
- 波長 460 $\mu\mu$  での振幅..... $\Delta M = 0.136 \pm 0.026$
- 又、眼視光度 (550 $\mu\mu$ ) による電光の振幅..... $\Delta m_{vis} = 0.091$
- 寫眞光度 (432 $\mu\mu$ ) による變光の振幅..... $\Delta m_{ph} = 0.151$
- 色指數の振幅..... $\Delta FI = 0.063$

故に  $\Delta FI / \Delta m_{vis} = 0.69$

因みに Güssow 氏によればセファイ式變星の平均は  $\Delta FI / \Delta m_{vis} = 0.73$  である。〔Gött. Veröff. 46〕

### 574 新しい遊星の命名

ベルリンの計算局より發行される R. I. 誌第 1476 及 1487 (去10月31日及11月14日附) によれば下の如く新小遊星がハイデルベルヒ天文臺の K. Reinmuth 氏によつて命名された。

第1227番の小遊星	年次の假名	1931 TD	新名 “Geranium”
1228	”	1931 TU	” “Scabiosa”
1231	”	1931 TE <sub>2</sub>	” “Auricula”
1232	”	1931 '1 F <sub>2</sub>	” “Cortusa”
1233	”	1931 TG <sub>2</sub>	” “Kobresia”
1376	”	1935 UH	” “Michelle”

但し (1376) のは G. Reiss 氏の命名である。